

日経産業新聞

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 〒100-66 (03)270-0251
 東京都千代田区大手町1-9-5
 振替口座 東京 3-555番
 大阪本社 〒540 (06)943-7111
 大阪市中央区大手前1-1-1
 振替口座 大阪 2-73217番
 西部支社 〒812 (092)473-3300
 福岡市博多区博多駅東2-16-1
 振替口座 福岡 1-1248番
 名古屋支社 〒460 (052)322-2561
 名古屋市中区正木2-3-1
 振替口座 名古屋 3-6149番
 札幌支社 〒060 (011)281-3211
 札幌市中央区北1条西7-3
 © 日本経済新聞社 1990

台湾に糸引き防止キャップ輸出

新興セルビック 95年には年10万枚

金型メーカーの新興セルビック(本社東京、社長竹内宏氏、資本金五百万円、03・785・7800)は、プラスチック部品の成型時に部品と射出成型機の間で生じる糸引き現象を防止するキャップを台湾で販売する。五年間の販売契約を台湾の商社と結んだ。相次ぐ日系メーカーの進出で台湾のプラスチック成型品の生産が伸びているのに対応する。

台湾の商社、立東塑膠工業股份有限公司(本社台北市)が買い取り、販売する。今年は一萬枚を販売する計画で、来年以降徐々に増やしていく。九五年には十萬枚にする。新興セルビックはすでに同有限公司とゲートカット(金型内で不要な樹脂を

切断する装置)の販売でも契約している。輸出するのは射出成型機の金型の樹脂注入口に張りつけて使う「糸引き防止キャップ」。樹脂を金型に注入する際、射出成型機の圧力でキャップの中央部が開き、注人が終わると閉まる仕組み。張るだけで糸引きを防止できる使いやすさと二枚三百

円という低価格で、今年の一月の発売以来十萬枚を販売した。新興セルビックはプラスチック精密金型の専業メーカーで、昨年度の売上高が一億円。金型内の型の部分だけを取り換えて使えるカセット式金型、ゲートカット、糸引き防止キャップなどの「アイデア商品」で売り上げを伸ばしている。